

# 山下しずお市長は

市民の皆様とともに3期12年間、全力を尽くし、小牧市を着実に前進させてきました!!

内閣府が選定 尾張地域唯一



SDGs 未来都市 こまき

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

全国 マニフェスト大賞  
「優秀賞」受賞

山下市長は、令和4年11月、日本最大の政策コンテストである「マニフェスト大賞」において、これまでの取組が評価され、過去最多の3,133件の応募の中から、〈首長の部〉で上位5名に贈られる「優秀賞」を受賞しました!

## 「小牧市方式」によるワクチン接種

「小牧市方式」によるスムーズなワクチン接種を行うなど、迅速なコロナ対策は市内外から高い評価。

通学路へ防犯カメラ100台を設置

市独自の私学助成を大幅拡充

## 快適な教育・子育て環境を

県下でいち早く、すべての小中学校にエアコンを整備。4月の「待機児童ゼロ」や、保育園・児童クラブの預かり時間の拡大等を実現。学校トイレの洋式化を加速。

毎週日曜日に市役所休日窓口を開設

第3子以降の小中学校給食費を無償化

# 確かな政策と実行力!!

## 環境に優しいまちを

5年連続リサイクル率No.1を達成  
ごみ問題に注力。市内全域で燃やすごみの午前中収集を実現、こども服のリユース事業や雑がみ等の排出方法の利便化等を通じて、リサイクル率は5年連続で県内第1位!

高齢者サロンを推進

新市民病院を整備

実績と信頼  
公約実現率  
95%以上!  
1~3期 124項目

## すべてのこども達に夢を

こども夢・チャレンジNo.1都市の実現へ、子育て支援を軸に市民がつながるまちを目指す。全小学校での「夢の教室」や、経済的に恵まれないこどものための無料学習塾「駒来塾」や「大学進学助成金」等を創設し、こどもの格差対策に注力。

高校生までの医療費を無料化

## 活力ある幸せな高齢社会を

福祉の充実とともに、「健康」と「支え合い」のポイント制度など、高齢者の健康づくりを支援し、高齢者の元気が地域の支え合いのチカラになる仕組みづくりを進め、「元気」と「支え合い」が地域内で循環するまちづくりを推進中。

中央図書館、こども未来館を整備

# 山下しずお市長

## 充実した医療と介護の環境を

「在宅医療・介護連携サポートセンター」を設置、医療・介護・福祉の専門職の連携強化。認知症高齢者や障がい者のための「権利擁護支援センター」を開設。認知症の方の保険加入支援や、交通費助成等の要介護者支援を充実。

## 様々な分野で着実な実績

## さらなる市内産業の充実

全国屈指の充実した企業新展開支援プログラムを展開、多数の新規企業の市内誘致を実現、こまき新産業振興センターを設置、市内限定プレミアム商品券発行による商業振興など。

こまき新産業振興センターを設置

がん検診を拡充、市独自の人間ドックを創設

防災体制を強化

第3老人福祉センターを整備

小牧山城復元プロジェクトを推進

## 全国一の巡回バス網

高齢者の足として65才以上無料  
高齢者の移動手段の確保を目的に、巡回バス「こまくる」を従来の8コースから23コースに大幅拡充。すべての市民のご自宅から半径およそ500m以内にバス停を置き、約1時間に1本を実現したバス網は全国的に類を見ない。

こまき市民文化財団を創設

5歳刻み歯科検診を実現

「中心市街地グランドデザイン」「東部振興構想」を策定

## ICTによる市民サービス向上

「まちレポこまき」などデジタル化・オンライン化による市民サービスの向上、「書かず」に簡単らくらく窓口を開始、亡くなられた際の手続きをワンストップ窓口で対応する「おくやみコーナー」の設置。

市民相談総合窓口を開設

## 全国屈指の健全財政を堅持

市債残高を100億円以上削減。貯金が借金の2倍あるのは県内3市のみ。ふるさと納税も令和3年度13億円は県内6位。

### 迅速なコロナ対策は市内外から高い評価

未曾有のコロナ危機の中、各自治体は、独自に様々な対策を講じてきました。小牧市は、山下市長の強いリーダーシップのもと、市民・事業者へ各種手厚い支援を行うとともに、迅速かつ的確に対応し、高く評価されています。例えば、

- ①県内最速で国からの定額給付金10万円を支給。
- ②県内で最初に自宅待機者への生活物資宅配事業をコンビニと提携して実施。
- ③ワクチン接種で当初全国的に混乱する中、市が接種受付を一元管理し、ワクチンが準備できた分ずつ年齢の高い順に接種券を送付することで、迅速かつスムーズなワクチン接種を実現。これは「小牧市方式」としてテレビ等メディアで紹介され、専門家からも高く評価された。



### 市民に愛される「中央図書館」と「こども未来館」

令和3年春にオープンし、グッドデザイン賞を受賞した「小牧市中央図書館」の利用者数は、旧図書館の約5倍の年間約70万人。土日は朝から席が足りなくなる程です。小牧市の子育て支援の拠点として、同時期にオープンした「こまきこども未来館」も、コロナ禍で入場制限をする中でも、市内外からの多くのこどもや親子で賑わっています。こども未来館はこれまでに約37万人が来場しました。山下市長が整備に注力した両施設ともに、早くも市民に愛される施設となっているようです。



4期目は、コロナ禍を克服し、次のステージへ

山下しずお公式ウェブサイト(Facebook, YouTube, Instagram)

